

時代に取り残された志士たちの超下級のバトルロワイヤル。映像作品のネットフリックスシリーズ「イクサガミ」(全6話)が、今月13日から世界独占配信されています。

時は1878(明治11)年、深夜の京都・天龍寺。莫大な賞金を得る機会を与えられた、腕に覚えのある志士292人がこの地に群がります。そこで告げられたのは、各自に配られた木札を奪い合い、東京にたどり着いたものに賞金が与えられる「蠱毒」という名のデスゲーム。主人公・嵯峨愁二郎は、妻と子を病から救うため命がけの参加を決意します。

「人斬り刻舟」の異名を持つ愁二郎を演じるのは岡田准一さん。本作ではプロデューサーとアクションプランナーも務めています。愁二郎と旅をとにする少女、双葉役に大抜てきされたのは藤崎ゆみあさん。こ

■ 新作時代劇の県内ロケ地

名場面の舞台を巡ろう

の他、超豪華俳優陣が物語を盛り上げます。

原作は、第166回直木賞をはじめ、数々の賞を受賞してきた大津市在住の時代小説家・今村翔吾の同名小説「イクサガミ」シリーズ。今村作品としては、今回が初の映像化となります。

さらに、本作は県内の多くの場所で行われた作品でもあります。全6話中、登場する滋賀ロケ地は実に12カ所。しかも、そのほとんどが県を代表する観光名所です。三井寺、彦根



「イクサガミ」のポスター

「イクサガミ」の県内ロケ地

油日神社(甲賀市)
岩尾池(甲賀市)
野川の棚田(甲賀市)
荒神山神社(彦根市)
三井寺(大津市)
八幡堀(近江八幡市)
百済寺(東近江市)
金剛輪寺(愛荘町)
彦根オープンセット(彦根市)
彦根城(彦根市)
西教寺(大津市)
三所神社(甲賀市)

ています。

本作の撮影を支援したのは、県と県内全19市町でつくる任意団体で、映画やドラマの誘致などを行う「滋賀ロケーションオフィス」です。同オフィスは本作の配信に合わせて県内のロケ地マップを制作し、12カ所の魅力を詳しく紹介しています。県内市町の観光協会や道の駅で配布するほか、同オフィスのホームページでも公開しています。

ネットフリックスが初めて日本の時代劇を独自制作し配信する注目作です。同オフィスでは、配信を記念し、県内のロケ地を巡るデ

ジタルスタンプラリーを開催しています。非公開の「彦根オープンセット」を除く県内11カ所を巡る高難易度なスタンプラリーとなっていますが、どのロケ地も魅力的です。ぜひお出かけください。

(滋賀ロケーションオフィス・有田高志)



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

◇ 【イクサガミ】の主な出演者】岡田准一、藤崎ゆみあ、清原果耶、東出昌大、染谷将太、早乙女太一、遠藤雄弥、岡崎体育、城桧吏、淵上泰史、榎木孝明、酒向芳、松尾諭、矢柴俊博、黒田大輔、吉原光夫、一ノ瀬ワタル、笹野高史、松浦祐也、宇崎竜童、井浦新、田中哲司、中島歩、山田孝之、吉岡里帆、二宮和也、玉木宏、伊藤英明、濱田岳、阿部寛(敬称略)